

PrimeShip-CTF for PSPC

In Compliance with resolutions MSC.215(82) / MSC.288(87)
COT用機能実装版 (Phase 3)

Presentation Document

2012年12月28日

目次

はじめに：PrimeShip-CTFへの取り組み	03	COT対応～LOG内容～	16
はじめに：CTFSG（ステアリンググループ）の体制	04	ユーザビリティ向上～コピーペースト機能～	17
はじめに：CTFSG（ステアリンググループ）の体制(2)	05	ユーザビリティ向上～印刷機能追加～	18
今回の大幅な改善点	06	ユーザビリティ向上～変更時使用リスト一覧表示～	19
画面デザインの刷新	07	ユーザビリティ向上～直近のLOGカラー表示機能～	20
機能別アイコンカラーの統一	08	ユーザビリティ向上～最終更新日表示～	21
COT対応～CTF作成機能～	09	ユーザビリティ向上～ソート機能～	22
COT対応～機能切替～	10	ユーザビリティ向上～LOG項目の再検討～	23
COT対応～HOME画面～	11	ユーザビリティ向上～その他の実装／改修機能～	24
COT対応～HOME画面（追加機能）～	12	日本語／英語／中国語／韓国語でのサービス提供	25
COT対応～船番ごとの基本設定画面～	13	推奨利用環境	26
COT対応～設定画面（追加機能）	14	システム利用サポート	27
COT対応～作業識別バー～	15		

はじめに: PrimeShip-CTFへの取り組み

(一財) 日本海事協会では、造船業をはじめとする海事産業のために業界からの要望が強い課題について、共同研究による研究開発を推進するスキームを構築し、関連の基盤技術となる研究開発を進めて参りました。

CTF作成支援システムの開発経緯

プロジェクト	実施期間	主な開発内容
Phase 1	2009年9月1日～2010年4月15日	CTF作成支援システムとしてスタンドアロン型システム（DVD版ソフト）の開発
Phase 2	2010年12月15日～2011年6月28日	世界中からのアクセスを可能とするクラウドコンピューティングを利用したクラウド型システムの開発及び構築
Phase 3	2012年6月1日～2012年12月31日	クラウド型システムにCOT対応機能を追加実装及びユーザビリティ向上への機能アップデート

今回のプロジェクトでは、現在提供されているPrimeShip-CTFクラウド型にCOT用LOGの作成機能を新たに追加実装するとともに、ユーザー各社より寄せられたご要望を基にCTFSGで機能等の検討を行い、ユーザビリティ向上を目的とした新たな機能実装・改修が加えられました。

ご利用の皆様はCTF作成業務の助けとなれば幸いです。

はじめに:CTFSG(ステアリンググループ)の体制

	所属	所属役職	氏名
委員長	(一社) 日本造船工業会	川崎重工業(株) 船舶海洋カンパニー 技術本部 基本設計部 基幹職	本井 達哉
委員	(一社) 日本造船工業会	三菱重工業(株) 船舶海洋事業本部 長崎船海品質保証部 香焼品質管理課 主任	松尾 稔
委員	(一社) 日本造船工業会	三井造船(株) 千葉造船工場 品質保証部	鷲野 裕樹
委員	(一社) 日本造船工業会	今治造船(株) 生産本部 PSPCプロジェクトチーム チームリーダー	寒田 恭司
委員	(一社) 日本造船工業会	ユニバーサル造船(株) 有明事業所品質保証部 塗装・就航船品 証室 塗装チームリーダー	中原 慎剛
委員	(一社) 日本造船工業会	川崎重工業(株) 船舶海洋カンパニー技術本部 基本設計部 構造計画課	野口 潤
委員	(一社) 日本造船工業会	住友重機械マリンエンジニアリング(株) 品質保証部 品質保証グループ(塗装) 主任技師	古井 広高
委員	麻生セントラル株式会社	麻生セントラル(株) 代表取締役	結城 保則
委員	麻生セントラル株式会社	麻生セントラル(株) 営業部 プロジェクトマネージャー	結城 吾郎
委員	(一財) 日本海事協会	(一財) 日本海事協会 検査技術部 主管	水口 和久 順不同 敬称略

はじめに:CTFSG(ステアリンググループ)の体制(2)

オブザーバー	(一財)日本海事協会	(一財)日本海事協会 検査技術部	神浦 眞帆
オブザーバー	(一財)日本海事協会	(一財)日本海事協会 研究開発推進室 主管	平田 純一
オブザーバー	(一財)日本海事協会	(一財)日本海事協会 テクニカルサービス部	藤原 治郎
オブザーバー	(一社)日本船主協会	(一社)日本船主協会 海務部 係長	津野 良治
オブザーバー	(一社)日本造船工業会	今治造船(株) 丸亀事業本部 工作グループ副課長	馬場 徹
オブザーバー	(一社)日本造船工業会	三菱重工業(株) 船舶海洋事業本部 香焼船海工作部 船装課 塗装係 作業長	横尾 浩
オブザーバー	(一社)日本造船工業会	三菱重工業(株) 船舶海洋事業本部 長崎船海品質保証部 香焼品質管理課 主席	白水 清治
オブザーバー	麻生セントラル株式会社	麻生セントラル(株) 情報処理事業部 プロデューサー	田中 剛
オブザーバー	麻生セントラル株式会社	麻生セントラル(株) 情報処理事業部	高橋 知彦
事務局	(一財)日本船舶技術研究協会	研究開発グループ 連携ユニット長	田村 顕洋
事務局	(一財)日本船舶技術研究協会	研究開発グループ 連携ユニット プロジェクトリーダー	宮本 武
事務局	(一財)日本船舶技術研究協会	研究開発グループ 連携ユニット	羽深 糸乃

順不同 敬称略

今回の大幅な改善点

Phase2のシステムではWBT用のCTF作成を目的とされています。

これに併せて、2010年5月14日にIMO決議MSC.288(87)として、対象船にはWBTに加え新たにCOTに対するCTF作成が義務付けられ、2013年1月発効として制定されました。これにより現在のシステムにCOTのLOG作成について対応する必要がありました。

また、Phase2開発(クラウド型)のサービス運用が開始されましたが、サポートセンターに寄せられた情報やCTFSG参加企業の委員よりヒアリングを重ね、改善要望を集計してまいりました。

その結果、Phase3プロジェクトにおいては下記の2点を大きな柱として開発が進められました。

- ✔ COT (Cargo Oil Tank) 用のCTF作成機能の開発
- ✔ ご利用ユーザーからの要望を基にしたPhase2システムの改修

画面デザインの刷新

COT対応Ver.ではユーザビリティ向上のため
全ての画面において画面構成の見直しを実施致し
ました。


良く使う機能を考慮したレイアウトの変更、
及び視認性向上に寄与するべくアイコンカラーの
変更を加えるとともに、見た目からも操作が煩わ
しく感じられない様にとの配慮も加え、新しいデ
ザインとなりました。


The screenshot displays the PrimeShip-CTF for PSPC web application interface. The header includes the logo, language selection (Japanese), and a help link. The main content area is organized into several functional blocks:


- 管理者メニュー (Admin Menu):** Contains buttons for "全体基本設定" (Global Basic Settings) and "船番毎の基本設定" (Basic Settings per Ship Number).
- レポート管理 (Report Management):** Includes buttons for "レポート印刷" (Report Print) and "レポート提出" (Report Submission), both with a "WBT" label.
- LOGフォーマット (Log Format):** Lists available log formats: "WBT Format", "WBT Format(英語)PDF", and "WBT Format(日本語)PDF".
- WBT Coating log作成 (WBT Coating log Creation):** A central section with buttons for "ショップステージ" (Shop Stage), "ブロックステージ" (Block Stage), "プレエレクションステージ" (Pre-etching Stage), and "エレクションステージ" (Etching Stage), each with a "WBT" label. Below these are checkboxes for "FormSSP", "FormCA", "Film thickness data", and "FormDFT".
- 作業の流れ (Work Flow):** A section with a user icon and instructions: "まずはログ作成を行うための初期設定を行ってください。【全体基本設定】では全ての船番で必要となる設定、【船番毎の基本設定】ではステージ情報の登録を行えます。" It includes buttons for "全体基本設定" and "船番毎の基本設定".
- 作業の進捗 (Work Progress):** A list of stages with checkboxes and detailed descriptions of what data is recorded for each stage (e.g., FormSSP, FormCA, FormDFT).
- レポート提出 (Report Submission):** A button with a "WBT" label and a note: "ログ作成結果は、レポート提出機能を使うことで、データでの確認を受けることができます。"
- レポート印刷 (Report Print):** A button with a "WBT" label and a note: "完成したレポートを印刷しましょう。印刷時にPDF変換することで、PDFファイルを作成することもできます。"

機能別アイコンカラーの統一

アイコンカラーは機能ごとに3色に統一した。
これによりテキストだけでなく、カラーによって
視認性が向上し作業ステージの判別が容易となりました。

 システム設定項目
オレンジ

 WBTに関する項目
ブルー

 COTに関する項目
パープル

全体基本設定

船番毎の基本設定

レポート印刷

WBT

レポート提出

WBT

レポート印刷

COT

レポート提出

COT

COT対応～CTF作成機能～

本システムではPhase2で開発・運用されているPrimeShip-CTFについて、新たにCOT用LOG作成機能を新規に開発・実装致しました。

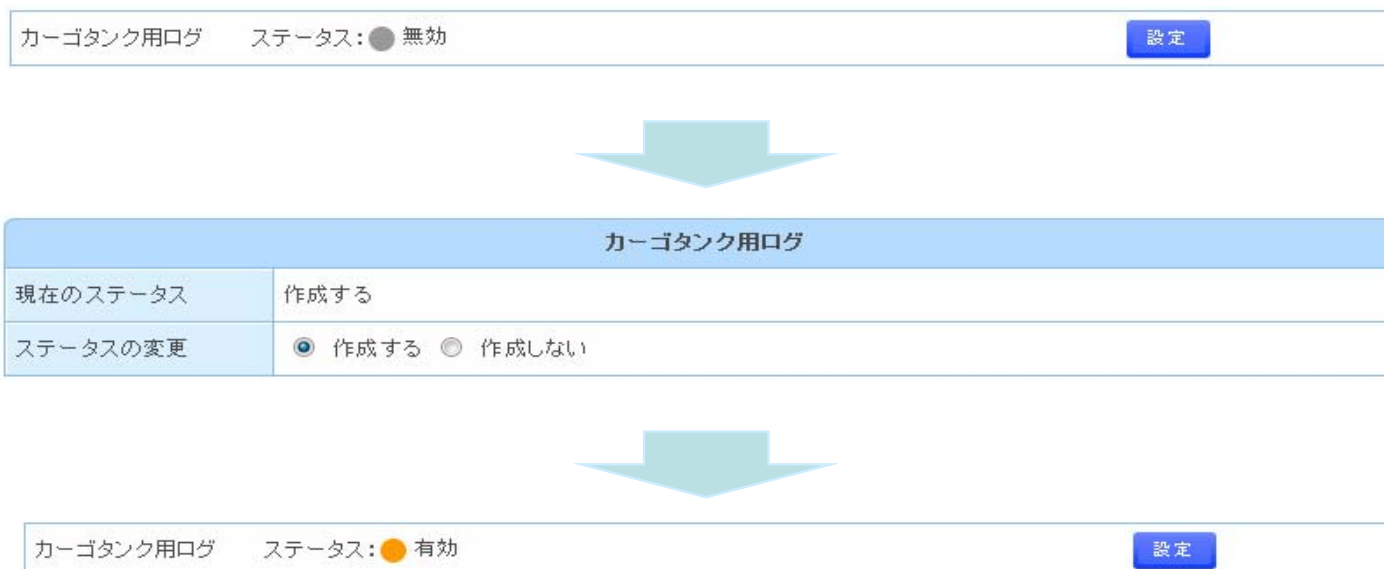
COT用CTF作成のために主な追加された変更点は下記の通りです。

- ✔ 船番ごとにCOT用LOG作成機能を実装
 - COT適用時は基本設定にCOTメニューが追加
 - COT膜厚規定値の追加登録
 - ステージ情報の登録（ブロック／プレエレクション／エレクションのブロックリスト）
- ✔ COT適用時のHOME画面レイアウト変更
 - COTメニューの表示
 - COTレポートフォーマットの表示
 - アイコンカラーを機能別に統一表示（WBT：ブルー／COT：パープル）
- ✔ COT操作時の全画面において上部ラインをパープルで表示

COT対応～機能切替～

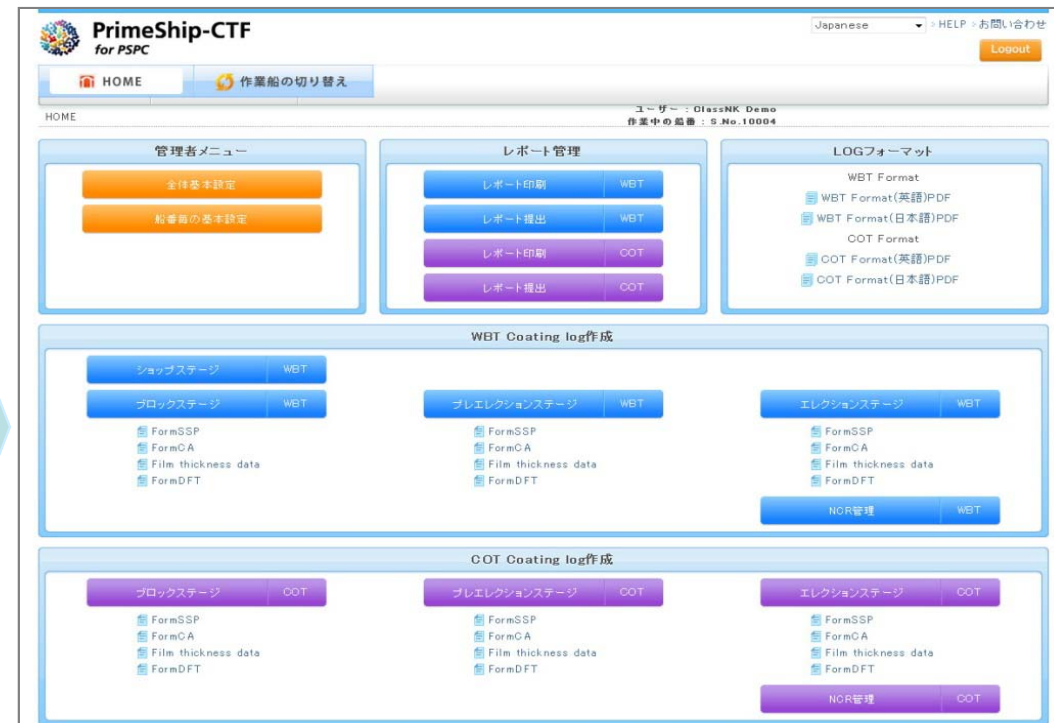
COTのLOG作成機能は船番ごとに機能設定を可能としています。

ステータスの変更のみでCOTのLOG作成機能が設定可能としており、煩わしい操作を不要としています。



COT対応～HOME画面～

船番ごとにCOTのLOG作成機能を設定することができ、設定されると該当船番のメニュー画面がCOT対応画面へと切り替わります。



COT対応～HOME画面(追加機能)～

The screenshot displays the PrimeShip-CTF for PSPC HOME interface. At the top, there is a header with the logo, language selection (Japanese), and user information (GlassNK Demo, S.No.10004). Below the header, there are navigation buttons for HOME and a job switching function. The main content area is divided into several sections:

- 管理者メニュー (Admin Menu):** Includes buttons for 全体基本設定 (Overall Basic Settings) and 船番毎の基本設定 (Basic Settings per Ship Number).
- レポート管理 (Report Management):** Contains buttons for レポート印刷 (Report Print) and レポート提出 (Report Submission) for both WBT and COT. The COT buttons are highlighted with a red box.
- LOGフォーマット (LOG Format):** Lists available formats: WBT Format (English/Japanese PDF) and COT Format (English/Japanese PDF). The COT options are highlighted with a red box.
- WBT Coating log作成 (WBT Coating log Creation):** Features buttons for ショップステージ (Shop Stage), ブロックステージ (Block Stage), プレエレクションステージ (Pre-etching Stage), and エレクションステージ (Etching Stage), each with associated form options (FormSSP, FormCA, Film thickness data, FormDFT) and an NCR管理 (NCR Management) button.
- COT Coating log作成 (COT Coating log Creation):** Features buttons for ブロックステージ (Block Stage), プレエレクションステージ (Pre-etching Stage), and エレクションステージ (Etching Stage), each with associated form options and an NCR管理 button. This entire section is highlighted with a red box.

COT機能設定で追加される項目

COT用LOGの印刷・提出機能

COT用LOGフォーマット
(英語版/日本語版)

COT用LOG作成メニュー

COT対応～船番ごとの基本設定画面～

COT対応に設定すると設定画面も自動で切り替わる

COTを有効化

このスクリーンショットは、COT（船荷役）が無効化された状態の「カーゴタンク用ログ」の基本設定画面を示しています。画面上部には「カーゴタンク用ログ」のステータスが「無効」に設定されています。また、「作業船番の選択」セクションには「船名登録」、「使用塗料登録」、および「膜厚規定値の登録」の項目があり、それぞれ「WBT」が選択されています。「ステージ情報の登録」セクションには「ブロック」、「プレエレブロック」、および「エレクション」の項目があり、それぞれ「WBT」が選択されています。下部には「オプション 三者合意」セクションがあり、「三者合意書類登録ページ」が設定されています。また、「任意のデータ取り込み」セクションがあり、「任意データ取り込みページ」が設定されています。

このスクリーンショットは、COT（船荷役）が有効化された状態の「カーゴタンク用ログ」の基本設定画面を示しています。画面上部には「カーゴタンク用ログ」のステータスが「有効」に設定されています。また、「作業船番の選択」セクションには「船名登録」、「使用塗料登録」、および「膜厚規定値の登録」の項目があり、それぞれ「WBT」が選択されています。また、「膜厚規定値の登録」の項目には「COT」が選択されています。「ステージ情報の登録」セクションには「ブロック」、「プレエレブロック」、および「エレクション」の項目があり、それぞれ「WBT」が選択されています。また、「ブロック」、「プレエレブロック」、および「エレクション」の項目には「COT」が選択されています。下部には「オプション 三者合意」セクションがあり、「三者合意書類登録ページ」が設定されています。また、「任意のデータ取り込み」セクションがあり、「任意データ取り込みページ」が設定されています。

COT対応～設定画面(追加機能)～

カーゴタンク用ログ ステータス: ●有効 設定

基本設定全てを他船番からコピーする ---- コピー

作業船番の選択

船名登録	----	コピー
使用塗料登録	----	コピー
<input checked="" type="checkbox"/> 膜厚規定値の登録 WBT	----	コピー
<input checked="" type="checkbox"/> 膜厚規定値の登録 COT	----	コピー

ステージ情報の登録

ブロック WBT	----	コピー
プレエレブロック WBT	----	コピー
エレクション WBT	----	コピー
ブロック COT	----	コピー
プレエレブロック COT	----	コピー
エレクション COT	----	コピー

オプション 三者合意

三者合意書類登録ページ	----	コピー
--------------------------	-------------------	------------------

任意のデータ取り込み

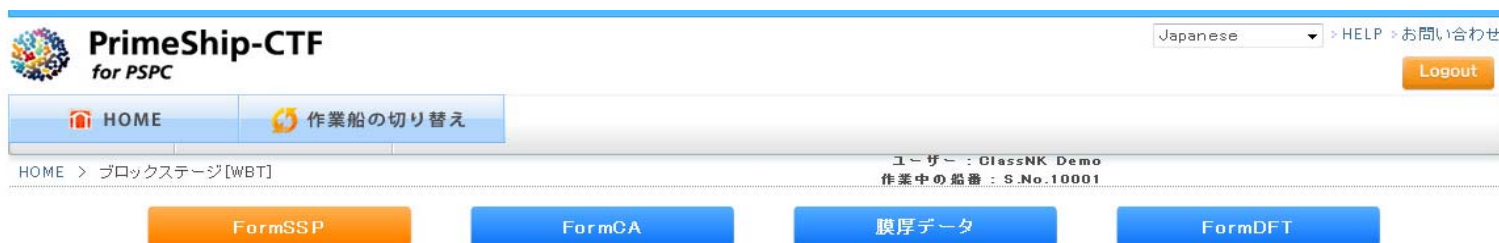
任意データ取り込みページ	----	コピー
---------------------------	-------------------	------------------

COT機能設定で追加される項目

COTの規定膜厚設定機能

COTのブロックリスト設定

COT対応～作業識別バー～



全画面においてWBT操作時はブルー、COT操作時はパープルで画面上部ラインが表示されます。



COT対応～LOG内容～

COT対応のLOGがCTFSGにおいて検討され、ガイドラインに即したフォーマットとして設定されています。

FormCA Full coat : COT		PreErectionStage		
ShipNo.				
PreErectionBlockName				
Area	㎡			
Place 1stCoat				
Place 2ndCoat				
	1stCoat		2ndCoat	
	Before	Curing	Before	Curing
Inspection Date / Time	/	/	/	/
Weather				
Dry bulb Temp	℃	℃	℃	℃
Wet bulb Temp	℃	℃	℃	℃
Relative Humidity	%	%	%	%
Dew Point	℃	℃	℃	℃
Surface Temp	℃	℃	℃	℃
Judgement				
Area of Application				
Dust				
Oil / Grease				
Manufacturer				
Product name				
ID number				
Color				
Batch No Base				
Batch No Hard				
Non Conformity Report				
	1stCoat		2ndCoat	
	Remarks			
Signature : The undersigned have confirmed the above items.				
	1stCoat		2ndCoat	
	Inspectors	Shipyard	Inspectors	Shipyard
Name	Name	Name	Name	Name
Signature	Signature	Signature	Signature	Signature

“塗装範囲”を追加

Form CA

“For inner bottom／For underdeck”を追加

Form SSP (プレエレクションステージ)

Form SSP (エレクションステージ)

※WBTのLOGは変更なし

ユーザビリティ向上～コピーペースト機能～

対象レポートに対して同一LOGのコピー機能を実装。

これにより内容がほぼ同じLOGの作成が、一部の書き換えのみで作成可能となりました。



PrimeShip-CTF
for PSPC



HOME



作業船の切り替え

HOME > ショップステージ > FormPSPレポート詳細

コピー

貼り付け

編集

船番

S.No.10001

Form PSP（ショップステージ）のみ
他の船番へもコピー可能。

その他は同一船番の中でコピー可能。

ユーザビリティ向上～印刷機能追加～

レポート印刷（出力）画面でのレイアウト変更を実施。

ステージ順に工程順として並ぶと利用しやすいという要望を反映しています。

検査年月日	--- ▼ 年 --- ▼ 月 --- ▼ 日 ~ --- ▼ 年 --- ▼ 月 --- ▼
範囲	<input type="radio"/> ショップステージ (PSP) <input type="radio"/> ブロックステージ <input type="radio"/> SSP <input type="radio"/> CA <input type="radio"/> DFT <input type="radio"/> プレエレクトリオンステージ <input type="radio"/> SSP <input type="radio"/> CA <input type="radio"/> DFT <input type="radio"/> エレクトリオンステージ <input type="radio"/> SSP <input type="radio"/> CA <input type="radio"/> DFT <input type="radio"/> NCR
検査者	--- ▼

ユーザビリティ向上～変更時使用リスト一覧表示～

ship-CTF Japanese

作業船の切り替え

検査者・検証者の管理

ユーザー: GlassNK Demo
作業中の船番: S.No.10001

・変更・削除を行おうとしている検査者・検証者は、レポート内で使用されている為変更・削除は行えません。
使用レポート表示 ユーザー名:[未記入] (Hajime Satou)

*最大登録可能数:200ユーザー

検査者・検証者の管理

検査者・検証者 検査者 検証者

ステージ情報変更時に、変更内容がどこに使用されているか、アラート表示の他、新たに使用リスト一覧の表示機能を実装。これにより、各レポート毎の確認が不要となり、変更作業のユーザビリティ向上に貢献。

Ship-CTF Japanese

作業船の切り替え

検査者・検証者の管理

ユーザー: GlassNK Demo
作業中の船番: S.No.10001

・変更・削除を行おうとしている検査者・検証者は、レポート内で使用されている為変更・削除は行えません。
使用レポート非表示 ユーザー名:[未記入] (Hajime Satou)

船番	検査ステージ	検査箇所	管理No	名称
S.No.10001	block	CA_COAT1	101	AP1(P)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_COAT2	101	AP1(P)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE1	101	AP1(P)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE2	101	AP1(P)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_COAT1	102	AP1(S)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_COAT2	102	AP1(S)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE1	102	AP1(S)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE2	102	AP1(S)/A.P.T.
S.No.10001	block	DFT	102	AP1(S)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_COAT1	103	AP2(P)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_COAT2	103	AP2(P)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE1	103	AP2(P)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE2	103	AP2(P)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_COAT1	104	AP2(S)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_COAT2	104	AP2(S)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE1	104	AP2(S)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE2	104	AP2(S)/A.P.T.
S.No.10001	block	DFT	104	AP2(S)/A.P.T.
S.No.10001	block	CA_COAT1	121	BN12(P)/No.5 W.B.T.
S.No.10001	block	CA_COAT2	121	BN12(P)/No.5 W.B.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE1	121	BN12(P)/No.5 W.B.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE2	121	BN12(P)/No.5 W.B.T.
S.No.10001	block	CA_COAT1	122	BN12(S)/No.5 W.B.T.
S.No.10001	block	CA_COAT2	122	BN12(S)/No.5 W.B.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE1	122	BN12(S)/No.5 W.B.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE2	122	BN12(S)/No.5 W.B.T.
S.No.10001	block	CA_COAT1	123	BNH12(P)/No.5 W.B.T.
S.No.10001	block	CA_COAT2	123	BNH12(P)/No.5 W.B.T.
S.No.10001	block	CA_STRIPE1	123	BNH12(P)/No.5 W.B.T.
S.No.10001	block	CA_COAT1	124	BNH12(S)/No.5 W.B.T.

30件迄表示 全件数:58

*最大登録可能数:200ユーザー

検査者・検証者の管理

検査者・検証者 検査者 検証者

ユーザビリティ向上～直近のLOGカラー表示機能～

● 検証済み

ステージ情報登録期		検査年月日		FormSSP レポート一覧					
選択	管理No	ブロック名	鋼材処理			表面処理			船級
<input type="checkbox"/>	122	BN12(S)/No.5 W.B.T.	Acceptable	開く	2011/08/02	Acceptable	開く	2011/08/01	作成中
<input type="checkbox"/>	123	BNH12(P)/No.5 W.B.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/01	Acceptable ●	開く	2011/08/01	確認OK
<input type="checkbox"/>	124	BNH12(S)/No.5 W.B.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/01	Acceptable ●	開く	2011/08/01	確認OK
<input type="checkbox"/>	125	BN13(P)/No.5 W.B.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/02	未完成	開く	—	作成中
<input type="checkbox"/>	126	BN13(S)/No.5 W.B.T.	未完成	開く	2011/04/26	未完成	開く	—	作成中
<input type="checkbox"/>	126-1	BN13(S)/No.5 W.B.T.-1	未完成	開く	—	未完成	開く	—	作成中
<input type="checkbox"/>	126-C	BN13(S)/No.5 W.B.T.-C	未完成	開く	—	未完成	開く	—	作成中
<input type="checkbox"/>	127	BNH13(P)/No.5 W.B.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/02	Acceptable ●	開く	2011/08/02	提出予定
<input type="checkbox"/>	128	BNH13(S)/No.5 W.B.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/02	Acceptable ●	開く	2011/08/02	提出済
<input type="checkbox"/>	141	BN13(P)/No.4 W.B.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/03	Acceptable ●	開く	2011/08/02	提出済
<input type="checkbox"/>	142	BN13(S)/No.4 W.B.T.	Acceptable	開く	2011/08/03	未完成	開く	—	作成中
<input type="checkbox"/>	143	BNH13(P)/No.4 W.B.T.	Acceptable	開く	2011/08/03	Acceptable	開く	2011/08/03	作成中
<input type="checkbox"/>	144	BNH13(S)/No.4 W.B.T.	未完成	開く	—	未完成	開く	—	作成中
<input type="checkbox"/>	145	BN14(P)/No.4 W.B.T.	未完成	開く	—	未完成	開く	—	作成中
<input type="checkbox"/>	146	BN14(S)/No.4 W.B.T.	未完成	開く	—	未完成	開く	—	作成中
<input type="checkbox"/>	147	BNH14(P)/No.4 W.B.T.	未完成	開く	—	未完成	開く	—	作成中
<input type="checkbox"/>	148	BNH14(S)/No.4 W.B.T.	未完成	開く	—	未完成	開く	—	作成中
<input type="checkbox"/>	149	BN15(P)/No.4 W.B.T.	未完成	開く	—	未完成	開く	—	作成中
<input type="checkbox"/>	150	BN15(S)/No.4 W.B.T.	未完成	開く	—	未完成	開く	—	作成中

LOG詳細画面から一覧表に戻った際に、直近で見ていたLOGを一覧表内でカラー表示される機能を追加実装。

またLOG数が多い場合はカラー表示の他に一覧表の上部へ位置調整される機能も追加しました。

ユーザビリティ向上～最終更新日表示～

LOG一覧表に表示されている各LOGごとに最終更新日が表示される機能を実装。

LOGを開かずに一目で確認できるよう改善されました。

FormSSP レポート一覧						
網材処理			表面処理			
Acceptable ●	開く	2011/08/01	Acceptable ●	開く	2011/08/01	
Acceptable ●	開く	2011/08/01	Acceptable ●	開く	2011/08/01	
Acceptable ●	開く	2011/08/01	Acceptable ●	開く	2011/08/01	
Acceptable ●	開く	2011/08/01	Acceptable ●	開く	2011/08/01	
未完成	開く	2011/08/01	Acceptable ●	開く	2011/08/01	
Acceptable	開く	2011/08/02	Acceptable	開く	2011/08/01	
Acceptable ●	開く	2011/08/01	Acceptable ●	開く	2011/08/01	

ユーザビリティ向上～ソート機能～

LOG一覧表にリスト並び替え機能を追加。

一覧の場所に合わせたソートボタンを実装し、ワンクリックでリストの並び替えが可能となっています。

● 検証済み

ステージ情報登録順		検査年月日順		FormSSP レポート一覧	
選択	管理No	ブロック名	鋼材処理		
<input type="checkbox"/>	101	AP1(P)/A.P.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/01
<input type="checkbox"/>	102	AP1(S)/A.P.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/01
<input type="checkbox"/>	103	AP2(P)/A.P.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/01
<input type="checkbox"/>	104	AP2(S)/A.P.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/01
<input type="checkbox"/>	121	BN12(P)/No.5 W.B.T.	未完成	開く	2011/08/01
<input type="checkbox"/>	122	BN12(S)/No.5 W.B.T.	Acceptable	開く	2011/08/02
<input type="checkbox"/>	123	BNH12(P)/No.5 W.B.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/01
<input type="checkbox"/>	124	BNH12(S)/No.5 W.B.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/01
<input type="checkbox"/>	125	BN13(P)/No.5 W.B.T.	Acceptable ●	開く	2011/08/02

ユーザビリティ向上～LOG項目の再検討～

下記の自動で生成されるLOG内容を見直し、Item欄にはSSPとCAについてLOG種別まで含めるように処理を変更。






- ❖ Shipyard Work Record
- ❖ Shipyard's Verified Inspection Report

※上記LOGはシステム上にて自動で編集・作成される。

The image shows two overlapping form templates. The top form is titled 'ShipyardWorkRecord : COT' and contains fields for Ship No., Ship Name, Name of Shipyard, and Job Date. The bottom form is titled 'Shipyard's Verified Inspection Report : COT' and contains fields for Ship No. and Name of Shipyard, followed by a large table with columns: No., Item, Part of Structure (Block/Tank Name), Complete Date of Inspection, Result of Inspection, Inspector, and Shipyard. The bottom form also includes a footer with the text 'COT Report 2-1. Shipyard's Verified Inspection Report Format powered by PrimeShip-CTF'.

ユーザビリティ向上～その他の実装/改修機能～

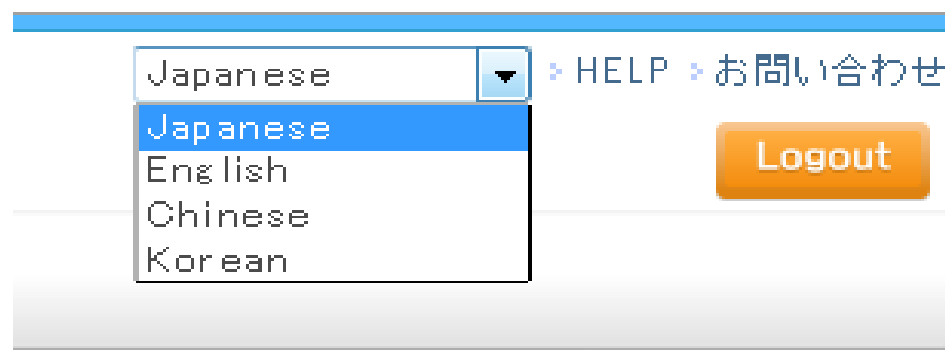
ユーザビリティ向上のために、既存システムへ細かな修正を加えました。
目に見える部分からプログラム周りに至るまで、全システムでの改善を実施。

-  エラー表示が全てのページで上部に表示されるよう統一
-  画面上部の**HELP**コメント欄を下部に移動、デザインの刷新により機能部分の表示を増加させ、作業効率の向上。
-  CTFSGにて詳細決定したユーザー権限に沿った仕様に変更
-  ビジュアル的観点から表示処理を修正し、見易い画面へと刷新
-  基本設定項目の更新速度改善の為にプログラム処理の変更

日本語/英語/中国語/韓国語でのサービス提供



前回Ver.に引き続き、日・英・中・韓の4カ国語での表示に対応。



画面ヘッダーにプルダウン選択が実装されており、いつでも言語選択が可能となっています。

※出力レポートは英語のみとなります。

推奨利用環境

サービスを利用するに当たっては、下記環境を推奨します。

クラウドコンピューティングによるサービス提供のため、サービス操作自体で高Spec環境は必要としないが、印刷時（またはPDF変換出力時）の処理能力は利用者のPC環境に依存します。

- ▶ ブラウザ Windows Internet Explorer 8.x / 9.x Firefox 10.0以上
- ▶ OS Windows XP～
- ▶ CPU 2GHz～
- ▶ Memory 1GB～
- ▶ Monitor 解像度1280×768(WXGA)以上
- ▶ HDD 必要空き容量はPDF作成／保存容量に依存
- ▶ ブラウザ設定 JavaScript有効/クッキー有効

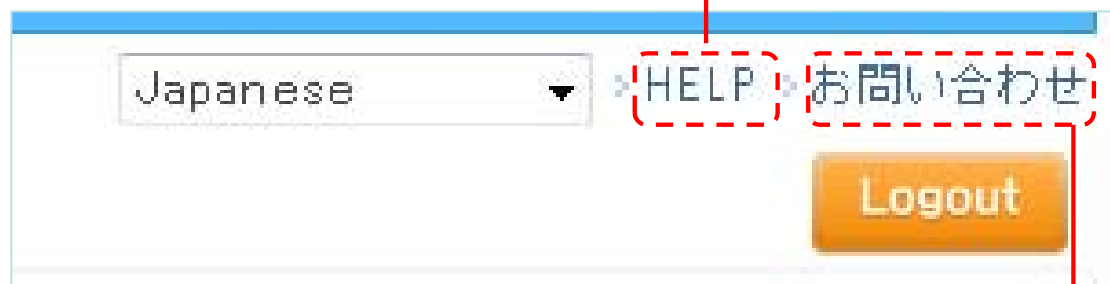
※ブラウザ最低動作環境はIE7以上であるが、セキュリティ等の観点から上記が推奨。

※ブラウザ及びOSはMicrosoft社のサポート対象版及びFirefox最新版のみ対応。

システム利用サポート

PrimeShip-CTFの利用には以下のサポートが用意されています。

- ▶ Q&Aページ <https://primeship-ctf.com/shipyard/help/index>



全ての画面に表示される左記
リンクからもアクセス可能

- ▶ サポートセンター（メール対応） support@primeship-ctf.com

- ▶ 操作マニュアルダウンロード <https://primeship-ctf.com/images/japanese/manual.pdf>